



**9**  
 2018

<b>主題 (2017/2018)</b>	
<b>国際会長</b>	Friendship across the borders Let us walk in the Light-together 「国境なき友情」 「ともに、光の中を歩こう」
<b>アジア会長</b>	Respect Y's Movement Solidify the Ys Men Family for Better World. 「ワイズ運動を尊重しよう」「よりよい世界のため、Ysファミリーの絆を強めよう」
<b>西日本区理事</b>	Healthy mind&healthy body make healthy club 2022年にむけて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
<b>中西部長</b>	Hope for the Future 「未来には希望がある」
<b>大阪クラブ会長</b>	Exchange the Neighborly Love 「隣人愛を実践しよう！」

会長	脇本博
直前会長	牟大盛
副会長	森嶋弘
	豊島正
書記	利水汎
会計	清水汎
ブリテン	北村知三
連絡主事	牟大盛
	清水汎

**【今月の聖句】**

「なぜなら、互いに愛し合うこと、これがあなたがたの  
始めから聞いている教えだからです。」

ヨハネの手紙一 3章11節

**【聖句に寄せて】**

**田尻 忠邦**

イエス様ご自身が人を愛されました。弟子たちを愛し、病人を愛し、特に社会の中で差別され、疎外されている人々に寄り添い、その友となり、神の愛を伝えました。

「一人ひとりを大切に」と謳うYMC Aの理念に通じるところがあるのではないのでしょうか。

**【巻頭雑感】**

**清水 汎**

9月になり少し秋めいてきました。

大阪の交通機関がここ15年以内に大きく変わろうとしています。このことを知っているか、知らない方も居られると思いますので、少し参考に話してみたいと思います。

交通機関のことですが、新大阪と関西国際空港と直結する、なにわ筋線が正式に認可され40年前からの懸案でしたが実現することになりました。ただし実現するのは14年後ですが、これで大阪の交通機関も大きく変貌するものと思われます。大阪の街の繁栄は東から西に移る傾向がありますが、これが最終的な移動と思われます。現在市内から空港まで1時間以上掛かっていますが、なにわ筋線では30～40分で乗り換えなしで到着できます。新幹線と飛行機を利用するのは、ビジネスでは当たり前であり、なにわ筋線の3駅、北大阪、中之島、西本町の駅周辺に巨大なビジネス街ができると思われます。北大阪では阪急と連結、中之島では京阪電車、西本町では中央線と連結し、南港のAR事業と繋がるのが予想されます。この線には、JR、南海本線、阪急線が乗り入れるようです。現在、御堂筋線が中心ですが、将来は

なにわ筋線が中心になる可能性があります。

大都市制度で検討されていますが、特別区案で4区、総合区案で8区が検討され、協議会で大阪が現在の24区が4区か8区に絞られそうです。西区も中央区になり、YMCAも中央区になると思われます。大阪はアジアの人に人気があり、東京中心が大阪にも少し繁栄が戻る可能性があると思われます。

来年の元号の改正と合わせ、大阪も従来とは違った街ができそうです。

### 【9月例会プログラム】 (メネット月間)

と き：2018年9月11日(火) 18:30～20:30

ところ：土佐堀YMCA 101号室

会 費：ビジター 1000円

司会：脇本真知子メネット会長

1. 開会の鐘 脇本 博 会長
2. クラブソング
3. ゲストメネット紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」斉唱・晚餐
6. 会食
7. 講演講師：中西部メネット事業主査、坂本千春さん  
テーマ 「今期メネット事業について」
8. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
9. インフォメーション
10. YMCAニュース
11. 閉会の鐘 脇本 博 会長

受付：北村・崔メネット

★今月の誕生日：牟大盛(1)、植野正弘(08)、尾和信孝(10)

★メネットさんお誕生日：清水佐智子(10)、北村信子(11)

★ご結婚記念日：なし

### 【第2例会のご案内】

と き：2018年9月18日(火) 19:00～21:00

ところ：大阪土佐堀YMCA 703号室

(変更になることもあります)

## 【8月出席状況】

区 分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	15	6 (40.0)	2	9
広義会員	1	0	0	
計	16	6	2	9

☆ニコニコ献金； 円

☆「いこいの家」献金：5,000円（條メン）

★メネット；脇本真知子メネット会長、崔メネット

★ビジター：谷 正一様（大阪西）中西部部長、湯浅禎也様（大阪西）中西部書記、  
今井利子様（大阪なかのしま）

★ゲスト；Miss Ashley Gardea（パサディナクラブから交換留学生）  
村井達司様（元大阪クラブ）、宮野孝雄様（脇本会長友人）、  
脇本京子様（脇本会長の妹さん）、望月康子様（脇本会長知人）、  
港 三佐子様（脇本会長知人）

## 【8月第2例会・役員会報告】

日 時：2018年8月21日（木） 19:00～20:50

場 所：大阪YMCA 701号室

出席者：脇本博会長・清水汎・脇本真知子メネット会長・北村知三・牟大盛・田尻忠邦・  
濱添吉生連絡主事

協議事項：

1) ー9月例会：（メネット月間）

9月11日（火）午後6時半から、場所；大阪YMCA 土佐堀館10F

例会内容；中西部メネット事業主査、坂本千春さん 仮題「子どもたちの貧困について」

司会；脇本メネット、謝礼；1万円（メネット会会計から）

受付；崔メネット、北村メネット

その他；① 後半に「パサディナ交換留学生受け入れの交流報告」の時間を設けること

② HHリーダー会からの報告について検討事項とする

③ 例会報告者は崔メネット

ー10月例会の件：BF/EF 強調月間

10月9日（火）午後6時半から、場所；大阪YMCA土佐堀館10F（101号室）

例会内容は、翌月の90周年記念例会に備え、「90周年準備会」とする

司会；條 受付；清水（汎）、豊島、牟

ー11月例会は90周年記念例会

ー12月クリスマス祝会（\*今年度は大阪クラブがホスト）

1 2月11日（火）午後6時半から 場所；大阪キャッスルホテル  
祝会音楽は、山原氏に9月例会で依頼する予定とする。

## 2) その他協議事項

(ア) 部会の件；\*90周年記念例会アピールのため、(カッコ内)メンバーに部会参加を依頼する

- 9月1日（土）九州部会 —9月9日（日）京都部会（清水汎、豊島）
- 9月16日（日）中西部会（全員参加）
- 9月17日（月祝）阪和部会（脇本ご夫妻・清水汎ご夫妻・田尻）
- 9月22日（土）六甲部会（北村） —23日（日）瀬戸山陰部会
- 10月6日（土）中部部会（牟） —11月4日（日）びわこ部会（豊島）

(イ) その他イベント（\*印は大阪土佐堀YMCA行事）参加者募集中

- 8月25日（土）EMCシンポジウム（14：00～）と事業委員会（12：30～）
- \*9月24日（月・祝）チャリティラン（鶴見緑地）
  - ・今年もクラブの出場支援は3チーム（ランナー15名）
  - ・チャリティランチケット販売の件
- 10月20日（土）YYフォーラム（六甲山YMCA）参加者：牟、北村
- \*11月3日（土・祝）土佐堀カーニバル：シンエイフードのカレーライス300食予定

(ウ) ブリテン編集の件

—例会報告：8月済北村→牟 9月崔メネ 10月藤岡 11月各メンバー 12月田尻

(エ) 会計より、今期の西日本区費 前期分142,300円と7月の西日本水害支援金1万円を  
8月8日に郵貯経由で送金済

(オ) 90周年祝会実施の件；清水汎 実行委員長

脇本会長の資料をもとに、主に記念誌への祝辞文や、祝会の祝辞挨拶依頼について、討議された  
また担当者として、プログラム編集・・・牟、出席者名簿名札づくり・・・牟・田尻、  
パワーポイント映像編集・・・脇本会長、HHキャンプ献金歴史・・・北村など決定

## 【納涼例会参加報告】

牟 大盛

8月10日金曜日午後6時半から、天満橋キャッスルホテルにて、クラブ納涼例会を17名の参加者で持ちました。通常は14日の第2火曜日ですが、お盆と重なるだけでなく、今年のパサデナクラブからの交換ホームステイ学生、Ms Ashley Gardeaさんの歓迎納涼例会も兼ねました。アシュレイさんは8月1日から大阪クラブのホームステイプログラムに参加中、6日から9日間は、六甲山YMCAでのGYC（Global Youth Conference）にフル参加され、今回の納涼例会に参加されました。

田尻メンの司会で、脇本博会長の開会点鐘とクラブソングで開会です。ゲストとして、村井達司さんもお久しぶりの参加と、脇本会長の妹様のご友人お二人、そして谷中西部長、湯浅書記、そしてなかのしまクラブの今井利子メンがご参加されました。勿論、Ashleyさんも参加です。

最初は、植野正弘さん（大阪市バスケット協会会長）の入会式です。谷中西部長の立会いのもと、脇本会長の司式で執り行われ、皆様の盛大な拍手で無事入会式を終えました。

続きまして、脇本会長のご友人の、和歌山大学OBで結成する善担会の7人による「マンドリンとギタ

一」の夕べです。洋楽と和楽を計8曲ほど熱のこもった演奏に、皆さん懐かしさに感動されて、最後は高校3年生をアンコールに追加して演奏をお願いして、2節まで皆で合唱しました。善担会の皆様は確か3回目ですが、ご招待のたびに大変レベルが上がっていることに驚きました。

藤岡メンの、英語による食前感謝祈祷の後、晚餐です。その時です、Ashleyさんが浴衣に着替えましての登場に、皆さんやんやの喝さいです。

また、植野正弘メンによるご入会のご挨拶では、ご本人の学生時代からの体験と学校の先生となり社会的な弱者と常に向き合うようになったことなどをお話くださいました。この精神は、ずばりワイズの社会奉仕精神でもあり、皆さん素晴らしい方がご入会されたと歓迎一色でした。

Ashleyさんは日本に始めてきて、ホストファミリーは勿論、見る物、会う方皆素晴らしく、将来英語の先生として、日本に是非来たいとの抱負を披露されました。

誕生のお祝いでは、何とAshleyさんだけが8月生まれで、全員でハッピーバースデーの歌を歌いました。ご本人もびっくりしていました。

ニコニコ献金、インフォメーションの後、脇本会長の閉会の点鐘で楽しくも、有意義なクラブ納涼例会を無事終えました。



## 【EMCシンポジウム参加報告】

牟 大盛

8月25日、大阪市西区の大阪木材仲買会館で、12時30分から2時までの中西部5事業委員会に続いて、午後2時から4時までEMCシンポジウムをもちました。

司会・伴奏は、和田早苗EMC事業主査です。ワイズソング斉唱の後、谷正一部長の挨拶、小野勅絃区主任による将来構想特別委員会のDVD上映のあと、10年の推移では、中西部などはほぼ半減している状況の分析説明、年度主題「NGT98作戦」つまり、賑やかで元気で若々しく楽しい例会に98人招待しましょう作戦について説明があり、長期主題として、2022年のワイズ100周年に向けて100クラブ2022人を目標に掲げている旨の説明がありました。

続いて、西日本区将来構想特別委員長、森田恵三さんによる「大事なおはなし」として、ワイズダムの重要性と将来構想について、熱く語られました。また質問者からは、「会長、役員の方々の任期が一期1年と短く、結果として行事過多、結果の確認も十分できず仕舞いであり、早々に二期2年とすべきである。」との意見に対し、委員長からは「全くその通りであり、特別委員会としても鋭意検討中である。」とのご返答でした。また、参加者に最初のクラブ、大阪クラブをもっと大事にご支援願いますとのお言葉もございました。

15時30分から、Tea Breakを挟んで、みんなで楽しく歌って交流の時間です。まずは和田主査のこだわりのプログラムで、讚美歌「いつくしみ深き」を四声合唱でワイズの選抜チームの賛美の後、夕焼け小やけ、ふるさとなどを歌い、次期中西部長、掛谷太郎メンの閉会点鐘で、学びと交わりの楽しいシンポ

ジュームを終了いたしました。

大阪クラブからは、北村メン、脇本メネット会長、田尻メン、豊島メン、牟メンの参加でした。脇本博会長はご参加予定でしたが、急患がありご欠席でした。

皆様、本当にご苦労様でした。



### 【IBC報告（その1）2018年日米夏季交換学生留学制度】 IBC担当 脇本 博

8月1日から8月14日の期間、パサデナクラブからアシュレイ・ガルデアさんが来日されました。皆様のご協力により無事にプログラムを終え、14日無事に帰国されました。アシュレイさんからのレポートです。原文と拙いですが訳文掲載します。

Hi Dr. Wakimoto!

Thank you again for everything you did for me during my stay in Japan. Because of you, Mr. Tajiri, and Mr. Fujioka, I had an amazing time. Here is my report of my stay in Japan:

On the morning of August 1st, I was met by Mr. Tajiri and Dr. and Mrs. Wakimoto at my hotel. After the warm welcome, I went with the Wakimoto's. From August 1- August 4, I stayed with Dr. and Mrs. Wakimoto. At first I was nervous, but those nerves quickly subsided as I was met with extreme kindness and hospitality. I was taken to Osaka Castle and was told the history of this site by Dr. Wakimoto. He was aware of my interest in history, and he made sure to incorporate it whenever possible. This made the trip very fulfilling. That night, I was taken to a Japanese sushi restaurant and I learned I was using chopsticks wrong my entire life! They taught me different ways to hold it so both the food and the chopsticks lesson was a great cultural experience. The next day, one of Dr. Wakimoto's nurse's daughters took me to various places in Kyoto and Osaka. It was fun being with someone around my age and I felt as though I made a new friend. The next day, the Wakimoto's took me to Hiroshima. This was a very eye-opening experience, for I have only ever learned about the tragedy from an American perspective. I feel as though I now have a more well-rounded view on this important event in history. After Hiroshima, we went to the island of Miyajima to see the ocean shrine. It was beautiful and another great introduction to Japanese culture. The following day, we went to Himeji Castle, another intriguing historical site. Then, I transferred households from the Wakimoto's to the Tajiri's.

I was picked up by Mr. Tajiri at the Wakimoto household. But this time, I was less nervous because of the hospitality I was shown by the Wakimoto's. I felt confident in knowing that my next host

families would treat me just as well. Also, Mr. Tajiri greeted me at the hotel on the first day, so it was comforting to see a familiar face. The Tajiri household was also very hospitable. I was fed delicious food by Mrs. Tajiri and was made to feel welcome. The next day, we made the trip to Mt. Kōya which is a prominent Buddhist settlement. I was able to see multiple temples and shrines in addition to a cemetery where people from the feudal era were buried. It was very interesting to learn about this period of history as well as the about the Buddhist religion. On the way back to their house, the Tajiri's bought me a beautiful yukata as a cultural gift. It was very thoughtful, and I now feel as though I have a part of Japan with me at home. The next few days were the Global Youth Conference, which was an amazing experience. Not only did I get to make friends with people my age from all around the world, but I got to share ideas with them about important world issues like mental health and the integration of artificial intelligence in society. I am very glad I was able to attend the conference because I was introduced to so many new cultures and ideas. After the conference, I attended the Y's Men meeting in Osaka. Again, I felt extremely welcomed by everyone there. It was a great experience and I was happy to see a group of people so enthused to give back to society. From the Y's Men meeting, I went home with Mr. Fujioka.

At Mr. Fujioka's house, I was greeted by his wife, daughters, and dogs. They made me feel as though I was a visiting family member instead of a stranger. With the Fujioka's, I went to an Osaka museum that had built a replica of Osaka from hundreds of years ago. It was very interesting to be able to walk down a street of what Osaka would look like centuries earlier. From there, we continued to tour Osaka. We walked down the longest shopping street, and they took me to get famous shaved ice from a shop in a mall. It was delicious! Later, we went to Osaka tower and I was able to see the city from a new perspective. It was a long day packed with fun and sightseeing. The next day, Mr. Fujioka's daughter, Masumi, took me to USJ. It was so cool to compare the Universal Studios in Hollywood with the one in Osaka. The difference in culture was apparent and I was glad I got to experience both. The trip to Universal Studios was very exciting, and later that evening, Masumi and her friends took me to get a delicious dinner. The final day with the Fujioka's was spent seeing the Golden Temple in Kyoto and walking down their famous anime and manga street in Osaka. After I left the Fujioka family, I returned to the Wakimoto's. I was treated with delicious shabu-shabu and returned home to sleep for my flight.

Overall, this was a once-in-a-lifetime experience. I was able to see Japan from a unique perspective because of the host families. The entire time, I felt welcomed and comfortable which made for a very enjoyable trip. The GYC was also very impactful; the collaboration of different cultures was a true indication of what world unity should be. In fact, I enjoyed it so much, I am going to look into possibly interning at the Japan YMCA next summer. This is so I can give back to the community that I fell in love with as well as attend the GYC again and meet even more people. I would highly recommend this experience to other youth. I learned a lot, I made lifelong friends, I grew as a person, and now I



am inspired to make a positive difference. Thank you for this opportunity.

-Ashley Gardea

こんにちは。

脇本さん、田尻さん、藤岡さん、ありがとうございました。皆様のおかげで、日本に滞在している間素晴らしい時間をすごせました。脇本さんから頼まれていたレポート送ります。

8月1日、田尻さん、脇本ご夫妻とホテルで会い、暖かい歓迎の挨拶の後、脇本さんの家に行き4日まで脇本家ですごすことになりました。最初は緊張していたのですが、親切な暖かいもてなしで、私の緊張感はすぐに消えていきました。大阪城に案内され脇本さんから当時の歴史を教えて貰いました。私が歴史に大変興味があることを脇本さんは知っていて、一生懸命説明してくれました。これは私の旅を大変充実したものにしてくれました。夜はお寿司屋さんに行きました。今まで私の箸の使い方が間違っていたのを知りました。お箸の持ち方と食べ物の掴みかたのレッスンを皆から受けました。大きな文化体験でした。翌日は脇本さんの看護師さんの娘さんが、京都と大阪の様々な所を案内してくれました。同じ年頃の方と一緒に過ごして、面白かったです。新しい友達ができたと感じました。3日には脇本夫妻が広島を案内してくれて、私は目を見張るような経験をしました。私は米国の観点からしか原爆の悲劇について学んでいませんでした。原爆ドームをみて、この歴史上のできごとを見ると今までよりもっと広い観点からものが見ることができるようになりました。広島を後にして海にうかぶ神社(訳者注 厳島神社)を見に行きました。それはとても美しく、日本の文化を知るうえでもう一つの素晴らしい場所でした。翌日は姫路城にいきました。興味をそそる場所でした。

脇本家に戻って、今度は田尻さんが迎えにきてくれました。脇本家での親切な対応で、私は少し緊張感がとれてきました。田尻家でも脇本家と同様に親切にしてくださるという確信が湧いてきました。田尻さんとは最初の日にお会いしていますし、親しみのもてる方です。田尻家でも奥さんの美味しい食事で大歓迎されました。翌日、高野山に行きました。多くの寺院や随分古い時代の人々が埋葬されている墓地を見ました。仏教について勉強するのと同様に、この時代の歴史を勉強するのにとっても興味がわきました。家へ帰る道すがら田尻さんがきれいな浴衣をプレゼントしてくれました。優しい思いやりで、わたしも日本が自分の家であるかのように感じました。

次の数日間はグローバルユースカンファランス(GYC)に参加しました。素晴らしい経験をしました。世界中から集まった同年代の人々と仲良くなっただけでなく、精神衛生や人工知能の課題など重要な課題を皆さんとともに考えるようになりました。今まで知らなかった新しい多くの文化や考え方に触れて嬉しく思いました。GYCが終わったあと、大阪クラブの例会に参加しました。そこで皆さんから私は大歓迎されました。大阪クラブの皆様が社会奉仕活動を熱心にされているのを聞いて感銘を受けました。

次は藤岡さんのお家で奥様、娘さん達、ワンちゃん達と挨拶を交わしました。よその人が来たというのではなく、親類の一人がやってきたような暖かい対応でした。藤岡家の皆さんと何百年も前からの大阪の歴史をたどれる大阪博物館に行きました。復元された何世紀も前の大阪の道路を歩くことができ、それは大変面白く思いました。一番長いと言われる商店街を歩きました。モールで有名なかき氷を食べました。美味しかったです。大阪タワー(訳者注 通天閣?)に行きました。違った方向から大阪市をみることができました。観光が面白い長い一日でした。翌日藤岡家の皆さんとUSJに行きました。ハリウッド



のUS Jと比較するととても素晴らしかったです。文化の違いは明らかで、2つのUS Jを経験できて嬉しかったです。大変興奮しました。夜はマシミさんと彼女の友達が美味しい夕食に連れて行ってくれました。翌日藤岡家での最後の日ですが、京都の金閣寺を観光し、大阪に帰ってきて有名なアニメと漫画の街（訳者注 日本橋？）で遊びました。藤岡家から脇本家へ帰り、しゃぶしゃぶをご馳走になりました。脇本家で明日の帰国に備えて早く就寝しました。

総括しますと、私の1度の生涯の1度の体験でした。ホストファミリーのお陰で、今までと違った観点から日本を見ることができました。私は皆様から歓迎され快適で楽しい旅でした。GYCの参加は私にはインパクトがありました。異なる文化を背景を持った人々の協同作業は、世界各国のつながりがどうあるべきかの良い指針だと思います。GYCに参加して楽しめました。来年YMCAで可能ならばインターンで覗いてみたいです。これが可能ならばGYCに参加してもっと多くの人達と出会うのと同時に私は皆さんに恩返しできていると思っています。多くの若者にGYCに参加して欲しいです。皆に強く勧めます。そこで私は沢山のことを学びました。永く続く友達ができました。大人として成長しました。成長への良い刺激となりました。

このような機会を与えてくれたことに感謝します。

アシュレイ・ガルデア





### 【IBC報告(その2)2018年日米夏季交換学生留学制度を終えて】 IBC担当 脇本 博

8月14日、アシュレイさんの帰国に際して、『今年のプログラムは災害や豪雨や台風に影響されることがなく計画通りことが運び、アシュレイさんは無事帰国の途についたこと。また大阪とパサデナ両クラブが1970年にこのプログラムを開始しておおよそ半世紀経ちました。大変な事業ですが、これを開始した両クラブの先輩達を賞賛せざるを得ません。このような両クラブの共同事業はIBC活動の一つのお手本になるのではないのでしょうか？私たちがこのプログラムを実施する目的は学生達にYMCAやワイズ運動を理解して貰い、また両クラブの友情を解って欲しいからです。このプログラムは両クラブの信頼関係がなければ、実施できないものです。アシュレイさんが帰国され貴クラブのミーティングに参加されましたら、大阪クラブの我々もアシュレイさんともに楽しい夏休暇を過ごせたこと、また、アシュレイさんはきっと歴史の優秀な先生になるでしょう、彼女の今後の歴史の研究のご発展を祈っていますとお伝えください。パサデナクラブの皆様によろしくお伝えください。』という内容のメールを送ったところ、18日に下記のようなご返事を頂きましたので報告します。

Hello Hiroshi,

Sorry for the delayed response. I've been busy with some work commitments the last few days. Thank you again for showing Ashley-san such a wonderful time in Osaka. It looks like she received the full "red-carpet" experience from you and the other Osaka Club members. The Pasadena club is very pleased Ashley-san had such a positive experience, one that she will probably remember for a lifetime.

I agree with you on your assessment on the need for full collaboration between our two clubs if we want to continue our student exchange program into the future. I commend you and the Osaka Club for your good work this year hosting Ashley-san and recognizing the requirements that are needed in order for her stay to be a successful one. At the same time, we would want your club members as well as ours next year to enjoy their usual summer holidays without being overburdened with their student exchange hosting duties. I recognize and understand the necessary time commitments that

are needed in order to have a successful home-stay experience for each student. This can especially more difficult with our smaller membership numbers. Anyway, we will all do our best with what we have in our future hosting duties, next year and beyond. If for some reason, either of our two clubs is unable to accommodate a student in a particular year, we should both understand and respect each others decision and hope to reconvene the program the following year.

Again, our two clubs should be proud of this long standing student exchange program that is unmatched by any other club in the USA that I aware of according to our current AP, Mr. Tibor Foki. As you mentioned, our student exchange program should be recognized as a prototype for other clubs interested in doing the same. We are also using this program as way to recruit potential new members from the pool of parents who currently use the services of our local YMCA (i,e,; Model UN, Youth & Government, etc.).

Anyway, we will speak with Ashley-san again next week to get more of her feedback as well as have her give a full report at our next club meeting. Given her desire to be a future teacher, she is planning to give us a detailed assessment of her experiences from student/teacher point of view. This may guide us in choosing other future students to go to Osaka as well as for our planning a well-rounded experience for future exchange students coming to the US.

We hope everyone in the Osaka Club has a good rest of the summer. We look forward to speaking again soon as we prepare for another student exchange program next year. Please convey our best wishes to the rest of the Osaka Club as well as their families who helped assist in Ashley-san's successful experience in Japan. I will send your letter of congratulations soon. If I don't send it in the next couple weeks, please remind me again as I may be busy with my regular job or my Y's Men's regional director duties.

Best Regards,

Jeff Brandeen  
President, Pasadena Y's Men's Club  
Regional Director, Pacific Southwest Region, 2017-19  
Y Service International - US Area

拝啓

このところ雑事で忙しくて返事が遅くなり申し訳ありません。アシュレイさん大阪で素晴らしい時間をすごさせていただきありがとうございました。大阪クラブの皆様から彼女は総赤絨毯でのもてなしを受けたように思います。パサデナクラブの私たちもアシュレイさんが生涯においておそらく忘れることができないような良い経験をさせて頂いたことに感謝しています。

貴方の言うように我々がこのプログラムを将来も続けるならば、両クラブ間の緊密な協同作業に対する貴方の評価に同意します（訳者注 脇本がこのプログラムを開始した両クラブの先輩の実行力を賞賛するということに対して）。この度アシュレイさんをホストして、成功裏に終わったことで大阪クラブの皆様を賞賛いたします。同時に大阪クラブの皆様もまた我々パサデナのメンバーも、学生の受け入れが過度の負担にならず夏休暇を過ごして欲しいと思います。各の学生のホームステイを成功裏に経験して貰うために時間と相当のかわりが必要です。私たちのようなメンバーの少ないクラブでは特に困難なしごとになってきましたが、来年以降もホストの義務は全力をあげてつくすつもりです。しかし何らかの理由で私たちのクラブのどちらかが学生の世話ができなくなったとき、その年は中止して延期するとか互いのクラブの決定を尊重すべきと思います。両クラブはこのように長く続いた学生交換プログラムを誇りに思っています。全米理事のチボール・フォーキー氏によると、アメリカにはこのような活動しているクラブはありません。貴方が言うように我々のプログラムは興味のあるクラブにとってお手本になるかもしれません。パサデナクラブはこのプログラムを我々のYMCAを利用して若い親たちをメンバーに勧誘する材料にするつもりです。

来週、アシュレイさんがパサデナの例会に出席されて、今回の訪日を報告することになっています。またわたしたちにとっても良いフィードバックになります。アシュレイさんは将来歴史の先生になるおつもりですから、彼女が体験を語る時先生から生徒へという感じでお話するのではないのでしょうか？彼女の話は次に大阪へ行く学生また米国へ来る学生を選ぶのに大変参考になる材料を提供してくれることと思います。

大阪クラブの皆様、残り少ない夏を楽しんでください。来年の交換学生を迎える準備でき次第、再びお話できることを楽しみにしています。今回のアシュレイさんがお世話になったご家族とクラブのメンバー様によりしくお伝えください。90周年お祝いの手紙はすぐ送ります。2, 3週間経っても届いていなければ、催促してください。仕事と米国南西部長の仕事が忙しくて書く暇もないかもしれませんので。

敬具

ジェフ・ブランダイーン パサデナワイズメンズクラブ会長  
太平洋南西部部長、  
ワイズメンズクラブ国際協会合衆国区

## 【大阪YMCAニュース】

濱添 吉生

☆第305回早天祈祷会☆

日時…2018年9月21日（金） 7:30~8:30

証し…杉浦 眞喜子さん（大阪なかのしまワイズメンズクラブ会員）

場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

☆第24回大阪YMCAインターナショナル・チャリティーラン2018☆

日時：2018年9月24日（祝・月） 9：00～13：00

場所：花博記念公園 鶴見緑地特設コース

ことしも走ります。保育園チーム、ご支援お願いします。

☆とさぼりカーニバル☆

日時：2018年11月3日（祝・土） 11：00～15：00（ブース終了は14:00）

募集：ブース出店 大阪ワイズはカレーライスにて出店します。

※各ブースの収益金は、クリスマス献金として国際協力活動、地域活動、青少年育成活動、個別支援プログラム等に活用させていただきます。

### 【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

スポーツ  も ルール がないと  喧嘩 する	好き嫌い 先入観 が 邪魔 をする	居酒屋  の酒が誤解 を埋め戻す	地球  に住む 人間 ぐたり  温暖化	シニア  でも リニア のように  浮かびたい	キリスト  が世界 に残る 長崎 に
--	-------------------------------	---------------------------	---------------------------------------	---	-----------------------------------

### 【編集後記】

台風が立て続けに日本列島に押し寄せています。私も夏休みの家族旅行をキャンセル、皆さんもいろいろと予定変更があったと思います。日本列島では、山の麓、川沿いに多くの家屋があり、山崩れ、洪水で多くの家屋が崩壊しています。個人資産の6割以上が家屋であり、将来個人にとって家屋喪失は重大な問題であり、温暖化の影響は国民全員で真剣に考えなければならないと思います。

（編集委員：清水 汎）